

台湾などその他アジアの機会

Rick Harris, VP Sales and Marketing, Skeena Sawmills

台湾は、アジア有数の経済成長を誇り、経済の拡大によってエネルギー需要が高まっています。台湾の一人当たり電力消費量は現在、世界第15番目であり、年率2%で伸びています。

最近、台湾政府は「気候温暖化ガス削減管理法」を制定し、5年毎に削減を進め、2050年までに炭素排出量を半減させようとしています。この目標を達成するためには、現在は台湾のエネルギー生産量の7%にすぎない再生可能エネルギーに大きくシフトする必要があります。台湾はエネルギーの8割以上を化石燃料に依存しており、年間の石炭消費量が6千万トンを超えています。

発電における石炭の使用量削減のため、あるいは石炭の代替品として、シンプルかつ効率のよい木質ペレットの利用が世界的に増大しています。ペレットは粉末化が容易であり、乾質で扱いも輸送もしやすく、エネルギー密度が高く、石炭火力発電施設に多少手を加えるだけで使用することができます。

台湾では、木質ペレットを活用することで石炭への依存度を下げ、気候温暖化ガス排出量を大きく削減することが現実的に可能です。予備的な分析ではありますが、木質ペレットを採用することで排出量を8割から9割削減する可能性が示されています。市場に与える影響としては、石炭火力の5%が木質ペレットとの混焼に移行すると、ペレット需要が350万トンから400万トン発生すると見込まれます。カナダはアジアへの輸送において有利ですから、カナダのペレット生産業者にとって大きな市場機会を意味します。経済にとっても地球環境にとってもウインウインなのです。

[ここ](#)をクリックして Rick Harris のプレゼンテーションをお聞きください。